

公益財団法人 日本サッカー協会
2019年度 第10回理事会

報告事項

1. FIFA カウンシル（10月24日開催）の件
<p>FIFA カウンシルが10月24日、中国／上海で開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2019年から2022年の期間において、女子サッカーに追加で5億ドル（500億円）を拠出し、合計で10億ドル（約1,000億円）を投資することを決定。 ● FIFA クラブワールドカップ2021について、中国で開催することを決定。 ● FIFA ワールドカップ2030™の招致タイムラインを発表し、招致プロセスは2022年第2四半期に開始とし、2024年の第74回FIFA総会で開催国を選定することを決定。 ● 今後のFIFA競技会の開催国について、以下の通り決定。 FIFA U-20 ワールドカップ2021™ インドネシア FIFA U-17 ワールドカップ2021™ ペルー FIFA ビーチサッカーワールドカップ2021™ ロシア ● 第71回FIFA総会を日本で開催することを決定。 ● FIFA フットボールステークホルダー委員会が提案した移籍システム改革案を承認。 ● FIFA 選手資格委員会が提案したFIFA選手資格及び移籍に関する規則改定案を承認。 ● 次回のFIFAカウンシルは、2020年3月12日-13日にパラグアイのアスンシオンで開催。
2. AFC 理事会（10月26日開催）の件
<p>AFC 理事会が10月26日、ベトナム／ダナンで開催された。主な決定・報告事項は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2021年からAFCチャンピオンズリーグの参加クラブ数を、現行の32から40に拡大することを決定。（東地域、西地域から追加で各4クラブが参加） ● 2022年からAFC女子アジアカップの参加チーム数を、現行の8から12に拡大することを決定。 ● AFC女子アジアカップ2022年について、チャイニーズ・タイペイ、インドおよびウズベキスタンから開催の意思表示があったことが報告された。 ● 2019-2020年シーズンからインドスーパーリーグ（ISL）をインドにおけるトップリーグとして承認し、優勝クラブにAFCチャンピオンズリーグプレーオフへの出場枠を付与するほか、インドにおけるサッカー改革計画をAFC理事会として支援することで合意。
3. JFA 夢フィールドの件
<p>(1) 名称について 故高円宮憲仁親王殿下の日本サッカー界における功績を後世に伝えるため、「JFA 夢フィールド」にその宮号を冠し、「高円宮記念 JFA 夢フィールド」とする。</p> <p>高円宮記念 JFA 夢フィールド (英語表記: Prince Takamado Memorial JFA YUME Field)</p> <p>対象となる区域: JFAのサッカートレーニング施設があるエリア 天然芝ピッチ2面、人工芝ピッチ1面、フットサルアリーナ、クラブハウス棟および芝管理棟</p>

(2) 寄付金募集期間の締め切りについて

JFA 公式ウェブサイト等での寄付金募集について、締め切りを当初予定していた 2019 年 12 月末日から 2020 年 1 月末日へ変更する。

なお、法人からの寄付については 2020 年 3 月末日まで受け付ける。

4. 18 歳未満の国際移籍選手等の JFA 登録手続き変更の件

10 月理事会で、18 歳未満の国際移籍選手等の JFA 登録手続きについて 2020 年度から高体連チーム、中体連チームの選手の国籍入力を義務付け、FIFA 規則に沿った登録手続きに変更することを報告した。(ただし、特別永住者の選手への配慮は継続)

これについて関係者と協議した結果、4 種チームについても 2020 年度から選手の国籍入力を義務付け、FIFA 規則に沿った登録手続きに変更する。

本変更は KICKOFF システムの改修後、2020 年 2 月から運用する予定。

※既に JFA 登録されている選手が同じチーム内で継続登録される場合は、上記運用は適用されないものとする。

5. 天皇杯 JFA 第 100 回全日本サッカー選手権大会 開催日程等の件

天皇杯 JFA 第 100 回全日本サッカー選手権大会の開催日程等を以下の通りとする。

(1) 開催日程

1 回戦 2020 年 5 月 23 日(土)、24 日(日) [予備日: 5 月 26 日(火)]

2 回戦 6 月 10 日(水) [予備日: 6 月 24 日(水)]

3 回戦 7 月 8 日(水) [予備日: 7 月 15 日(水)]

ラウンド 16(4 回戦) 8 月 19 日(水) [予備日: 9 月 23 日(水)、10 月 14 日(水)]

準々決勝 11 月 3 日(火・祝)、4 日(水) [予備日: 11 月 11 日(水)]

準決勝 12 月 19 日(土) [予備日: 12 月 26 日(土)]

決勝 2021 年 1 月 1 日(金・祝)

(2) アマチュアシード

都道府県選手権参加を免除する「アマチュアシード」は、日本フットボールリーグ(JFL)が選出する 1 チームとする。

6. 東京 2020 オリンピック競技大会サッカー競技テストイベントへの協力の件

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から、天皇杯 JFA 第 99 回全日本サッカー選手権大会 決勝を東京 2020 オリンピック競技大会のテストイベントとしたい旨の協力依頼があった。ついては、同大会の円滑な開催につなげることを目的として同試合をテストイベントとする。

対象試合: 天皇杯 JFA 第 99 回全日本サッカー選手権大会 決勝

日 程: 2020 年 1 月 1 日(水・祝)

会 場: 国立競技場

協力内容: 本試合を東京 2020 オリンピック競技大会のテストイベントとして位置づけることにより、本番に近い環境での運営面の確認を行っていただき、同大会の円滑な開催につなげる。

7. 天皇杯 JFA 第 99 回全日本サッカー選手権大会 ビデオアシスタントレフェリーの件

11月6日に開催された2019年第4回天皇杯実施委員会で、天皇杯 JFA 第99回全日本サッカー選手権大会決勝でビデオアシスタントレフェリー（VAR）を採用することを決定した。
2019年第3回天皇杯実施委員会で、準々決勝以降における追加副審（AAR）の採用することを決定し、2019年9月理事会へ報告していたが、以下のVAR導入の目的・効果を踏まえ、対象となる試合を拡大するもの。

目的：同決勝は、東京2020オリンピック競技大会における運営面の確認を行うテストイベントと位置づけられることから、オリンピックに近い環境とするとともに、以下の効果により大会価値の向上につなげるため。

効果：VARは試合映像に自主的にアクセスでき、以下に関する「はっきりとした、明白な間違い」または「見逃された重大な事象」の場合のみ主審を援助することができる。

①得点か得点でないか ②ペナルティキックかペナルティキックでないか ③退場（2つ目の警告（イエローカード）によるものではない） ④人間違い（主審が、反則を行ったチームの別の競技者に対して警告したり退場を命じた）

条件：実施にあたっては、競技規則及びVARハンドブックに基づき、実施要件を満たした上で、スタジアムテストを実施し、国際サッカー評議会（IFAB）とFIFAの承認を得る必要がある。

8. JFA Youth & Development Programme (JYD) 新規パートナーとの契約締結の件

JFA Youth & Development Programme (JYD) において、以下の通り、新規パートナーシップ契約を締結した。

1) 東亜道路工業株式会社

設立：1930年11月

事業内容：道路建設、舗装

本社所在地：東京都港区六本木7丁目3番7号

契約内容：JYDグリーンプロジェクトパートナー

2) 株式会社フジタ

創業：1910年12月

設立：2002年10月

事業内容：総合建設業

本社所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目25番2号

契約内容：JYDグリーンプロジェクトパートナー

（備考）JYDの協賛企業は、以下の現行の6社から、上記2社が加わり8社になった。

- ・アイリスオーヤマ株式会社（JYDオフィシャルパートナー）
- ・トヨタ自動車株式会社（JYDオフィシャルパートナー）
- ・ニチバン株式会社（JYDオフィシャルパートナー）
- ・株式会社明治（JYDオフィシャルパートナー）
- ・株式会社モルテン（JYDオフィシャルパートナー）
- ・麒麟ビバレッジ株式会社（JYDテクニカルパートナー）

9. eサッカー日本代表 FIFA eNations Cup 出場の件

eサッカーの国別対抗戦である「FIFA eNations Cup(eNC)」が2020年5月22日(金)～24日(日)にFIFA主催で開催される。同大会はエレクトロニック・アーツ社の「FIFA20」を使用して行われるeスポーツの世界大会であり、地域予選を勝ち抜いた24カ国が出場する。FIFAからJFAに地域予選への参加依頼があり、以下の内容にてeサッカー日本代表を選出し、派遣する。

スケジュール：2020年3月まで eサッカー日本代表選手選出
 2020年4月 eNCオンライン地域予選にeサッカー日本代表選手が参加
 2020年5月22日-24日 eNCへeサッカー日本代表選手派遣
 (予選を勝ち抜いた場合のみ。開催国は現時点で未定)

eサッカー日本代表の選出方法：

FIFA オンラインランキング国内上位選手(PS4・Xbox 各4名を予定)による対戦を実施し、eサッカー日本代表選手を決定する。但し、16歳以上で日本国籍を有し、過去に他国のe代表に選出されたことがないことを条件とする。

選出人数：3名(選手2名、補欠1名)

eNCへの派遣人数：2名

eNC時着用服：日本代表ユニホームを着用

なお、2021年のeNCに派遣するeサッカー日本代表は、2020年6月以降に地域予選大会を経て、2021年3月頃にJFA主催大会の開催を検討する。

10. 大会役員 国際試合への派遣の件

2022FIFAワールドカップカタールアジア2次予選兼 AFC アジアカップ中国2023 予選
 グループE
 オマーン vs バングラデシュ
 試合日：11月14日
 マッチコミッショナー：北村 俊

11. JFA サッカー施設整備助成事業の件

「JFA サッカー施設整備助成金 交付要項」に基づき、助成金交付要望のあった次の案件について、審査し交付を決定した。

[申請概要]

1. 兵庫県

- (1) 申請者：姫路市
- (2) 申請区分：[助成区分2] 地区サッカー施設整備助成事業
- (3) 助成対象事業：天然芝(改修)
- (4) 施設名：姫路市立陸上競技場
- (5) 計画地：姫路市中地377-1
- (6) 総事業費：8,383,100円
- (7) 助成金申請額：6,287,325円

<p>(8) 工期予定：2019年11月～2020年3月 (9) 交付決定日：2019年11月6日</p>
<p>12. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（更新）の件</p>
<p>申請者（施設所有者）：堺市 施設名：J GREEN 堺 S6 フィールド（堺市堺区築港八幡町145番地） 使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2050RSproACS75 公認期間：2019年4月14日～2022年4月13日 公認番号：第090号 <特記事項> 使用製品はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。 当該施設はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、 基準を満たしている。</p>
<p>13. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（新規）の件</p>
<p>(1) 申請者（施設所有者）：学校法人 国際学園 施設名：星槎湘南スタジアム（神奈川県中郡大磯町国府本郷1805-2 星槎湘南大磯キャンパス） 使用製品：株式会社アストロ アストロピッチ DS N60-EP 公認期間：2019年11月14日～2022年11月13日 公認番号：第236号 (2) 申請者（施設所有者）：北斗市 施設名：北斗市運動公園フットボール場（北海道北斗市添山地内） 使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2065RS+U-05ACS90-CF (Br) 公認期間：2019年11月14日～2022年11月13日 公認番号：第237号 <特記事項> 使用製品はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。 当該施設はJFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、 基準を満たしている。</p>
<p>14. 2019/20 サッカー競技規則改正に伴う8人制サッカー競技規則の改正の件</p>
<p>2019/20 サッカー競技規則改正の通達に伴い、8人制サッカー競技規則改正の通達を別紙の通り行う。 （報告）資料 1</p>
<p>15. 審判インストラクター・審判員の海外派遣の件</p>
<p>審判インストラクター・審判員の国際試合・セミナー等への派遣は次の通り。 <インストラクター> （大会・試合） ①AFC Futsal Championship Turkmenistan 2020 Qualifiers - West Zone</p>

大会期間：10月16日～22日
場所：バーレーン/マナマ
レフェリーアセッサー：松崎康弘

②AFC Futsal Championship Turkmenistan 2020 Qualifiers – Central & South Zone

大会期間：10月23日～25日
場所：イラン/オルミーエ
レフェリーアセッサー：延本泰一

<審判員>

(大会・試合)

①2020 FIFA World Cup Qatar™ – Preliminary Competition Asian Zone – Round 2 – Group B

ヨルダン vs クウェート

試合日：10月10日

場所：ヨルダン/アンマン

審判員：佐藤隆治・山内宏志・三原純・山本雄大

②2020 FIFA World Cup Qatar™ – Preliminary Competition Asian Zone – Round 2 – Group H

レバノン vs トルクメニスタン

試合日：10月10日

場所：レバノン/ベイルート

審判員：岡部拓人、西橋勲、野村修

③ANOC World Beach Games Qatar 2019

大会日程：10月11日～16日

場所：カタール/ドーハ

審判員：波多野祐一

④AFC Futsal Championship Turkmenistan 2020 Qualifiers – West Zone

大会日程：10月16日～22日

場所：バーレーン/マナマ

審判員：小崎知広

⑤AFC Futsal Championship Turkmenistan 2020 Qualifiers – ASEAN Zone

大会日程：10月21日～27日

場所：ベトナム/ホーチミンシティ

審判員：藤田武志、大矢翼

⑥2019 Chinese Super League – 天津泰達 vs 北京人和

試合日：10月20日

場所：中国/天津 審判員：飯田淳平
16. U-22 日本代表 海外遠征（10月）の件
活動期間 2019年10月7日(月)～2019年10月16日(水) ブラジル 練習試合 2019年10月10日(木)15:00 CFA Cotia U-22 日本代表 3-0 U-20 サンパウロ FC 国際親善試合 2019年10月14日(月) 16:00 Itaipava Arena Pernambuco U-22 日本代表 3-2 U-22 ブラジル代表 選手数：22人 スタッフ数：12人
17. なでしこジャパン(日本女子代表) 国際親善試合（11月）の件
実施期間 2019年11月4日(月)～2019年11月11日(月) 福岡県北九州市/本城陸上競技場 試合 2019年11月10日(日)12:45 福岡県/北九州スタジアム なでしこジャパン(日本女子代表) 2-0 南アフリカ女子代表 選手数：選手25人 スタッフ数：12人
18. U-19 日本女子代表 AFC U-19 女子選手権 タイ 2019 の件
活動期間 2019年10月27日(日)～2019年11月10日(日) タイ 選手数：選手23人 スタッフ数：12人 第1戦 2019年10月28日(月)16:00 タイ/IPE Chonburi Stadium U-19 日本女子代表 5-0 U-19 ミャンマー女子代表 第2戦 2019年10月31日(木)19:00 タイ/Chonburi Stadium U-19 日本女子代表 2-0 U-19 韓国女子代表 第3戦 2019年11月3日(日)16:00 タイ/Chonburi Stadium U-19 日本女子代表 2-1 U-19 中国女子代表 準決勝 2019年11月6日(水)20:00 タイ/Chonburi Stadium U-19 日本女子代表 7-0 U-19 オーストラリア女子代表 決勝 2019年11月9日(土)20:00 タイ/Chonburi Stadium U-19 日本女子代表 2-1 U-19 朝鮮民主主義人民共和国女子代表 <最終順位> 優勝：U-19 日本女子代表 準優勝：U-19 朝鮮民主主義人民共和国女子代表 3位：U-16 韓国女子代表 4位：U-16 オーストラリア女子代表
19. JFA・Fリーグ特別指定選手認定・解除の件
JFA・Fリーグ特別指定選手を資料の通り、認定・解除した。 (報告) 資料2

20. 第1回 ANOC ワールドビーチゲームズ（ビーチサッカー）の件

活動期間 2019年10月6日(日)～2019年10月17日(木) カタール
 第1戦 2019年10月11日(金) カタール/Katara Beach Pitch 1
 ビーチサッカー日本代表 7-2 ビーチサッカーウルグアイ代表
 2019年10月13日(日) カタール/Katara Beach Pitch 1
 ビーチサッカー日本代表 4-2 ビーチサッカーエルサルバドル代表
 2019年10月14日(月) カタール/Katara Beach Stadium
 ビーチサッカー日本代表 5-6 ビーチサッカーロシア代表
 参加チーム数：16チーム 選手数：12人 スタッフ数：5人

<最終順位>

- 1位：ビーチサッカー日本代表
- 2位：ビーチサッカーロシア代表
- 3位：ビーチサッカーエルサルバドル代表
- 4位：ビーチサッカーウルグアイ代表

21. JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー認定の件

下記の団体を「JFA グラスルーツ推進・賛同パートナー」に認定した。

() 内は賛同テーマ

1. 新規

認定日：2019年9月24日

- (1) MAKE Joy PROJECT (引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー、女子サッカー、施設の確保、社会課題への取り組み)

認定日：2019年9月27日

- (1) 特定非営利活動法人 FC 岸和田 (引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー、女子サッカー、施設の確保、社会課題への取り組み)

認定日：2019年10月16日

- (1) 東浦キッズフットボールクラブ (補欠ゼロ)
- (2) FC 相模野 (引退なし、補欠ゼロ、女子サッカー)
- (3) 株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ (引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー、女子サッカー、施設の確保、社会課題への取り組み)

以上の結果、現在の状況は次の通り。

- ・2019年4月以降の新規認定団体数 : 25団体
- ・2019年3月までの認定団体で認定を行った団体数 : 117団体

2019年度 認定団体数 : 142団体 (9月28日現在)

- 「引退なし」 : 88団体
- 「補欠ゼロ」 : 106団体
- 「障がい者サッカー」 : 75団体

「女子サッカー」 : 54 団体
 「施設の確保」 : 28 団体
 「社会課題への取り組み」 : 52 団体

22. 海外遠征申請の件

- (1) 特定非営利活動法人 山形県サッカー協会
 チーム 米沢/長井地区選抜 U-12 (第 4 種)
 遠征期間 11 月 29 日~12 月 2 日
 遠征先 韓国/ソウル
- (2) 公益財団法人 東京都サッカー協会
 チーム 東京都 U-18 選抜 (フットサル)
 遠征期間 12 月 6 日~12 月 8 日
 遠征先 韓国/ソウル
- (3) 一般社団法人 神奈川県サッカー協会
 チーム 川崎フロンターレ U-15 (第 3 種)
 遠征期間 12 月 18 日~12 月 23 日
 遠征先 ベトナム/ビンズン
- (4) 一般社団法人 神奈川県サッカー協会
 チーム 川崎フロンターレ U-12 (第 4 種)
 遠征期間 12 月 10 日~12 月 17 日
 遠征先 スペイン/バルセロナ
- (5) 一般社団法人 神奈川県サッカー協会
 チーム 川崎フロンターレ U-18 (第 2 種)
 遠征期間 12 月 20 日~12 月 23 日
 遠征先 ベトナム/ハノイ
- (6) 一般社団法人 新潟県サッカー協会
 チーム 開志国際高校 (第 2 種)
 遠征期間 12 月 11 日~12 月 16 日
 遠征先 チャイニーズ・タイペイ/新北
- (7) 一般財団法人 静岡県サッカー協会
 チーム 清水エスパルス U-10 (第 4 種)
 遠征期間 12 月 19 日~12 月 24 日
 遠征先 タイ/バンコク
- (8) 一般社団法人 大阪府サッカー協会
 チーム 興国高校 (第 2 種)
 遠征期間 11 月 29 日~12 月 9 日
 遠征先 スペイン/バルセロナ、バレンシア、マドリード
- (9) 一般社団法人 大阪府サッカー協会

チー ム 興国高校（第2種）
 遠征期間 2020年2月21日～3月5日
 遠 征 先 スペイン/バルセロナ、バレンシア、マドリード

(10) 一般社団法人 大阪府サッカー協会

チー ム ガンバ大阪U-13（第3種）
 遠征期間 12月19日～12月23日
 遠 征 先 ベトナム/ビンズン

(11) 一般社団法人 大阪府サッカー協会

チー ム アンドリュースFC（第4種）
 遠征期間 12月8日～12月15日
 遠 征 先 韓国/済州

(12) 一般財団法人 岡山県サッカー協会

チー ム ファジアーノ岡山U-15（第3種）
 遠征期間 12月12日～12月25日
 遠 征 先 マレーシア/パハン

【事後報告】

以下の遠征は、事前申請されていなかった為、事後申請分として報告致します。

(1) 公益財団法人 東京都サッカー協会

チー ム FC青山オーバー・フォーティ（シニア）
 遠征期間 10月26日～10月28日
 遠 征 先 韓国/ソウル

(2) 公益財団法人 東京都サッカー協会

チー ム 東京選抜(050)（シニア）
 遠征期間 10月26日～10月28日
 遠 征 先 韓国/ソウル

(3) 公益財団法人 東京都サッカー協会

チー ム 東京選抜(060)（シニア）
 遠征期間 10月26日～10月28日
 遠 征 先 韓国/ソウル

(4) 一般社団法人 大阪府サッカー協会

チー ム 大阪体育大学浪商高校（第2種）
 遠征期間 11月3日～11月10日
 遠 征 先 韓国/済州

(5) 一般社団法人 奈良県サッカー協会

チー ム 日本教育学院高校（第2種）
 遠征期間 11月3日～11月10日
 遠 征 先 韓国/済州

- (1) 申請団体：スポーツボランティア・ラウンドテーブル実行委員会（代表 飯塚寿代）
行事名称：スポーツボランティア・ラウンドテーブル2019
開催日：2019年12月22日
場所：JFAハウス内会議室
主催：スポーツボランティア・ラウンドテーブル実行委員会
後援：スポーツ庁、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、公益財団法人日本サッカー協会（予定）
協力：特定非営利活動法人日本スポーツボランティアネットワーク、特定非営利活動法人湘南スポーツコミュニティセンター（予定）
目的：全国各地で活動するJリーグの運営ボランティアをはじめとした各種スポーツのボランティアが一堂に会し、お互いの知識や経験を交換する。
内容：第1部 調査報告・ディスカッション
「Jリーグクラブのボランティアの現状と展望（仮）」
パネラー：澁谷茂樹氏（日本スポーツボランティアネットワーク 事務局長、笹川スポーツ財団 研究調査グループ シニア政策アナリスト）
杉山弘樹氏（日本スポーツボランティアネットワーク 事務局）
第2部 ショートセッション
「来るべき東京オリンピック・パラリンピックに向けて（仮）」
二宮雅也氏（文教大学准教授、日本スポーツボランティアネットワーク理事、日本財団ボランティアサポートセンター参加）
第3部 ラウンドテーブル（グループディスカッション）
参加料 5,000円
- (2) 申請団体：苓北町
行事名称：タイ王国サッカーチーム M00-PA 交流会
開催日：2019年10月15日
場所：熊本県天草郡苓北町 苓北中学校体育館ほか
主催：社会福祉法人慈永会
後援：苓北町、社会医療法人稲穂会、国際ロータリークラブ、公益財団法人日本サッカー協会
目的：タイの洞窟に閉じ込められ、無事に生還したサッカーチームの子どもたちを招待し、国際交流を行う。
内容：苓北町立苓北中学校を訪問し、全校生徒を対象とした講演会やサッカーボール贈呈等の交流を行う。
- (3) 申請団体：認定特定非営利活動法人日本ファンディング協会
行事名称：寄付月間記念シンポジウム「キフフェス2019」
開催日：2019年12月1日
場所：JFAハウス内ヴァーチャルスタジアム
主催：寄付月間推進委員会
後援：公益財団法人日本サッカー協会
目的：毎年12月に実施されている寄付啓発キャンペーン「寄付月間」のスタートでもある

る 12 月 1 日に今年のキャンペーンを盛り上げるための主催イベント「キフフェス 2019」を開催する。

内容：賛同パートナー等による交流会、スペシャル・キフトーク「みんなで作る“寄付月間”」、キフティング・チャレンジ（ボールリフティングを行い、寄付について考える）、キフを考えるタイムなど。

(4) 申請団体：特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会

行事名：さいたま市ノーマライゼーションカップ 2020

行事の場所：さいたま市/サイデン化学アリーナ

事業期間：2020 年 2 月 22 日～2020 年 2 月 22 日

主催：特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会、さいたま市

共催：さいたま市、NPO 法人日本ブラインドサッカー協会

行事の目的：さいたま市が制定している「ノーマライゼーション条例（誰もが共に暮らすため障害者の権利の擁護等に関する条例）」の意義のもと、障害者と健常者がともにプレーをすることが可能なブラインドサッカーを通して障がい者スポーツ条例の啓蒙と普及条例の啓発に資する。

後援：厚生労働省、スポーツ庁、観光庁、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、公益財団法人日本サッカー協会、一般社団法人日本障がい者サッカー連盟、埼玉県、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

協力：アクサ生命保険株式会社、株式会社アセットリード、SMBC 日興証券株式会社、株式会社朝日新聞社、KPMG ジャパン、味の素株式会社、全日本空輸株式会社、株式会社丸井グループ、参天製薬株式会社、TANAKA ホールディングス株式会社、株式会社インソース、双日株式会社、株式会社トーコンホールディングス、アルファロメオ

行事の内容：競技形式試合スケジュール：20 分ハーフ 1 試合

海外招聘チーム：調整中

競技規則：大会開催時における国際視覚障害者スポーツ連盟（IBSA）の「ブラインドサッカー競技規則 2017-2021』が定める競技規則及び、同大会申し合わせ事項に基づくものとする。後半終了時に同点の場合は引き分けとし試合終了とする。

(5) 申請団体：法務省、全国人権擁護委員連合会

行事名称：人権啓発キャッチコピーコンテスト

場所：地方法務局及び法務省人権擁護局

期間：2019 年 8 月 9 日～2019 年 9 月 30 日

行事の目的：東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、未来に向けて社会全体で人権問題に取り組もうとする機運がかつてなく高まっている。このような状況の中、法務省の人権擁護機関では、多様な主体が互いに連携し支え合う共生社会の実現に向けた各種の人権啓発活動を通じ、誰もがお互いの人権を尊重し合う「心のバリアフリー」を推進している。

行事の内容：ウェブサイト上の応募フォーム、郵送、電子メールにより以下の内容を応募してもらう

- ・各種人権啓発活動で使用するポスター、チラシ、パンフレット、横断幕等に表示するキャッチコピー

・当該キャッチコピーの趣旨

結果発表は2019年12月頃の予定

(6) 申請団体：一般財団法人日本AED財団

事業名：減らせ突然死：AED推進フォーラム2019

主催：一般財団法人日本AED財団

後援：厚生労働省、文部科学省、総務省消防庁、日本赤十字社、特定非営利活動法人日本防災士機構、NHK、読売新聞社、朝日新聞社、公益社団法人日本医師会、日本循環器学会、公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本心臓病学会、公益財団法人日本学校保健会、日本不整脈心電学会、一般社団法人日本臨床救急医学会、公益財団法人日本スポーツ協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター、東京2020オリンピック・パラリンピック医療コンソーシアム、公益財団法人日本サッカー協会、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、公益財団法人日本陸上競技連盟、一般社団法人全国ママさんバレーボール連盟（以上予定）

協力：旭化成ゾールメディカル株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社CU、セコム株式会社、日本光電工業株式会社、日本ストライカー株式会社、キヤノン株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、日本ライフライン株式会社、株式会社フィリップス・ジャパン、三井住友海上火災保険株式会社（以上予定）

期日：2019年12月13日（水）

会場：世界貿易センタービル

目的・内容：心臓突然死を減らすためには、AEDを用いた救命の仕組みづくり、構造が重要である。「School」「Sports」「Social」という三つの「S」にフォーカスを当て、市民による心肺蘇生及びAEDによる電気ショックの実施割合の向上を目指している。

今回のフォーラムでは、東京2020オリンピック・パラリンピックを見据え、「スポーツ現場における心臓突然死ゼロ」を目指して具体的な方策を議論する。

24. 裁定委員会に関する懲罰の件

裁定委員会（委員長：本林徹）より報告された懲罰案件について報告する。